

# 安全データシート(SDS)



## 1. 製品及び会社情報

作成日 2013年 2月25日  
改訂 2016年 6月 1日  
会社名 有限会社パシフィック化学  
住所 東京都豊島区南大塚3-48-2 NCビル2F  
TEL 03-3976-1578  
FAX 03-3971-2613  
緊急連絡先 同上

製品名 PC880 (静電発生緩和剤) (PC880-2・10・20)

## 2. 危険有害物の要約 (安息香酸ナトリウム) GHS分類

### 物理化学的危険性

可燃性固体 区分外  
自然発火性固体 区分外

### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分5[国連GHS分類]  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B

絵表示、シンボル: 該当なし

## 3. 組成及び成分情報

物質の特定	混合物 成分名	化学式	化審法化学 物質番号	CAS番号
	安息香酸ナトリウム			3-1293 532-32-1
	分散剤	$\text{CH}_3-(\text{CH}_2)_m-\text{CH}(\text{CH}_2)_n-\text{CH}_3$	(7)-97 103331-86-8*	
	水、その他			

## 4. 応急措置

### 注意書き

#### {安全対策}

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。  
個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
粉塵を吸入しないこと。

#### {救急処置}

眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。  
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。  
眼の刺激が持続する場合: 医師の診断、手当てを受けること。  
飲み込んだ時に気分が悪い場合: 医師の診断、手当てを受けること。

#### {保管}

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

{廃棄}

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注)物理化学危険性。健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で、{分類対象外}又は{分類できない}である。

#### 5. 火災時の措置

##### 消化方法

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。消化作業の際には、自給式空気呼吸器その他の保護具を着用し、風下で作業しない。初期消火には(霧状の水)粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には、泡(耐アルコール性)などを用いて空気を遮断することが有効である。

##### 消化材

周辺の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。水(霧状の水)、粉末、泡(耐アルコール性)、二酸化炭素が有効である。

#### 6. 漏出時の措置

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺に、ロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないように注意する。危険なくできるときは、漏洩を止める。少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ密閉できる容器に回収する。大量の場合、土砂等でその流出を防止し、安全な場所に導き、密閉可能な容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に入り込まないように注意する。

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

##### 取扱い技術的対策

本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。粉塵の発生を防止する。

##### 局所排気・全体換気・安全取扱い注意事項

必要に応じて換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

皮膚や粘膜に触れると、炎症を起こすことがある。

眼や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分きを付けること。

この製品を使用する時に、飲酒又は喫煙をしないこと。

##### 接触回避保管

湿気、水、高温体、火気との接触を避ける

##### 技術的対策

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作ると共に金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所は製品が汚染されないよう清潔にする。

##### 保管条件

保管場所は採光と換気装置を設置する。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。

強酸化剤から離して保管する。

容器は直射日光や火気を避けること。

容器を密閉して換気の良い冷暗所保管すること。

施錠して保管すること。

##### 混色危険物質

##### 強酸化剤

#### 8. 暴露防止および保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度 (暴露限界値、生物的暴露指標)

日本産衛学界(2010年版) 設定されていない  
ACGIH(2010年版) 設定されていない

## 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
粉塵が発生するときは、換気装置を設置する。

## 保護具

呼吸器の保護具：呼吸器保護具（防塵マスク）を着用する。  
手の保護具：保護手袋（塩ビ製、ニトリル製など）を着用する。  
眼の保護具：保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。  
皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣を着用する。必要に応じ保護長靴を着用する。

## 衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
取扱い後は良く手を洗う。  
保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など : 乳白色半透明の液体  
臭い : 無臭  
PH : 6.94 (30倍希釈7.00、50倍希釈7.02)  
融点 : -1~-2℃  
沸点 : 104℃  
引火点 : データなし  
比重 : 1.06  
水への溶解性 : 易溶  
粘度 : 110cp (30倍希釈4.0cp、50倍3.5cp)

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の実験条件において安定である。  
危険有害反応可能性 : 強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。  
避けるべき条件 : 直射日光、熱

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 マウスLD50=4070mg/kg、3140mg/kg (RTECS)  
から、区分5とした(国連GHS分類)  
ただし、分類JISでは区分外である。  
飲み込むと有害のおそれ(経口)(区分5)  
: 経皮 データがないため分類できない。  
: 吸入(蒸気) データなし  
: 吸入〔粉塵〕 データなし  
皮膚腐食性・刺激性 : ウサギの試験で”not irritating”と評価されている (JETOC)  
ことから区分外とした。  
眼に対する重篤な  
損傷・刺激性 : ウサギの試験で”slightly irritating”と評価されている (JETOC)  
ことから区分2Bとした。  
眼刺激(区分2B)  
呼吸器感作性又は : データなし  
皮膚感作性  
生殖細胞変異原性 : ラットの優性致死試験(経世代変異原性試験)およびラットの骨髄細胞  
での染色体異常試験(体細胞を用いるin vivo変異原性試験)陰性  
(JETOC)との記述から、区分外とした。  
発がん性 : ラットおよびマウスの18~24ヶ月または生涯傾向投与した試験で、  
腫瘍発生頻度の増加は認められない(JETOC推定)  
データ不足により分類できない。  
生殖毒性 : ラットおよびうさぎの器官形成期経口投与により、発生毒性は認められ  
ず。生殖能に及ぼす影響については、安息香酸のデータに基づき認  
められなかった(JETOC)

特定標的臓器・全身:情報なし

毒性(単回暴露)

特定標的臓器・全身:ラット90日間経口投与により、NOAEL=3145mg/kg bw. マウス

毒性(反復暴露) 35日経口投与により、NOAEL=3000mg/kgbw=1167mg/kgbw (90日補正值)となり、いずれもガイダンス値区分2の上限を超えている(JETOC)ことから区分外とした。

吸引性呼吸器 :情報がないため分類できない

有害性

## 12. 環境影響情報

水生環境急性 :魚毒性 ファットヘッドミノール650=484mg/L/96hr (SIDS)

有害性 :甲殻類 オオミジンコ EC50>100mg/96hr(SIDS)

:緑藻 ES50=430g/L/96hr(SIDS) に基づき、区分外とした。

水生環境慢性 :データ不足のため分類できない。

有害性

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

:関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

:廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

:都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。

:廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

:本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

(参考)燃焼法

可燃性溶剤に溶解し、又は木粉等に混ぜて、少量ずつ、アフターバーナー及びスクラパー付き焼却炉の火室で焼却する。

汚染容器及び包装 :容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

:空容器を廃棄する場合は、内容を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国内規制(適用法令)

陸上規制 :特段の規制なし

海上規制 :特段の規制なし

航空規制 :特段の規制なし

国連番号 :非該当

国連分類 :非該当

品名 :非該当

海洋汚染物質 :非該当

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
食品や肥料と一緒に輸送してはならない。  
重量物を上積みしない。

---

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当  
毒物及び劇物 : 非該当  
取締法  
消防法 : 非該当  
化学物質管理促進法 (PRTR法) : 非該当  
船舶安全法 : 非該当

---

航空法 : 非該当  
海洋汚染防止法 : 有害液体物質Z類物質 (施工令別表第1)  
輸出貿易管理令 : 別表第1。16項 (キャッチオール規制) 第29類 有機化学品  
HSコード (輸出統計品目番号、2012年3月版) 2916.31-000  
(安息香酸並びにその塩)

---

16. その他の情報

用途 (当該製品規格に限定されない一般的用途、規格により用途は相違する。)  
試薬、防腐剤、食品添加物、医薬、医薬部外品原料、重合促進剤、防錆剤

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧 (増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物 (総論編、無機編、有機編)	三共出版

---

本データシートは安全な取扱いのためのマニュアルとして作成されたものであり、品質を保証するものではありません。記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意して下さい。本剤の用途以外の使用または他の化学品と混合させた場合におこりうる変化については予測できません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取扱下さい。